

# 真崎地区 自治会だより

No.9

発行 平成25年6月25日  
編集 真崎地区自治会  
企画・総務部会  
電話 283-4477  
真崎コミュニティセンター  
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp

## 平成25年度の活動にあたって



真崎地区自治会 会長 大内隆彦

今年度黒羽根前会長から真崎地区自治会長の大役を引き継いだ大内です。よろしく申し上げます。昨今少子高齢化や核家族化の進展で、地域の結びつきや、近所隣りとの関係が薄くなってきたと言われるようになってきましたが、真崎地区自治会では各種専門部会や協議会の活躍で、地域に密着した行事や活動を行い、地域に必要とされる自治会組織となってきたと思っています。特に恒例となってきた「FOODフェスティバル」は地域住民の楽しい交流の場となってきました。また「防災訓練」の実施では、防災意識の高揚や近所隣りとの助け合いとなる「共助」の確認に役立ったと思います。

今年度も村の第5次総合計画基本理念に基づき地域内での各種行事を実施していきたいと思っています。特に昨年10月に東海村自治基本条例が施行され、村民、議会、行政の役割を明らかにした「協働」によるまちづくりがスタートしました。基本となっているのは、「自ら考え、自ら決め、自ら責任を持って行動する」です。地域での自治活動を進める上でも「行政との役割分担や、情報の共有化」を図りながら、誰もが安全で安心して暮らせる地域、ぬくもりを感じられる地域を目指します。本地域には恵まれた自然環境やすばらしい人材が大勢います。ふれ合い、語り合い、出合いを大事にして皆様方と一体となって活動を進めていきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

## 平成25年度真崎地区自治会第1回総会を開催



平成25年4月20日(土)真崎コミュニティセンターに於いて、真崎地区自治会総会が関係者多数参加のもと開催されました。黒羽根弘一 真崎地区自治会会長の挨拶、副村長 山田修氏のご挨拶の後、平成25年度事業計画及び収支計画を審議し承認されました。また、会長、副会長の改選及び顧問の選任について承認され、会長に大内隆彦氏が就任されました。この総会をもって、真崎地区自治会の平成25年度がスタートしました。真崎地区自治会では、以下に示す

1. 犯罪がなく、災害に強い、助け合いのまちづくり
2. みんながいきいきと、心豊かに暮らせるまちづくり
3. 子どもが輝き、地域が輝くまちづくり
4. 花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり
5. 地域連携による豊かな生活ができるまちづくり
6. 地域を愛し、人がつながるまちづくり

村の第5次総合計画の地区別計画活動方針に基づき、住みよい地域づくりを進めて参りますので、皆様のご理解とご協力、そして地区自治会活動へのご参加をお願いします。



## 副自治会長あいさつ



副自治会長  
森澤 潤一郎

今年の4月から舟石川三区の自治会長に就任いたしました。これまでの自治会活動、地区自治会運営に、ご支援、ご協力をいただき心から感謝しています。

舟三自治会の運営に当たっては、「安全で・安心して住みやすい地域づくり」、「明るく、元気な心がかよう地域づくり」を基本方針に、取り組んでまいります。さらに、3.11の東日本大震災を踏まえ組織化された舟三自主防災・防犯委員会の更なる充実、強化に向けて、防災訓練を行うことや防犯パトロールの充実等を通じて、日ごろの皆さんの防災・防犯意識の向上などに取り組んでまいります。地区自治会にあっては、舟三自治会の問題点等を持ち上げ一緒に対応して行くと共に、各種行事や共通の問題点対策に当たっては、大内地区自治会長のもと、役員みなんで協力し、対応して行きたい、と考えています。皆様方のご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

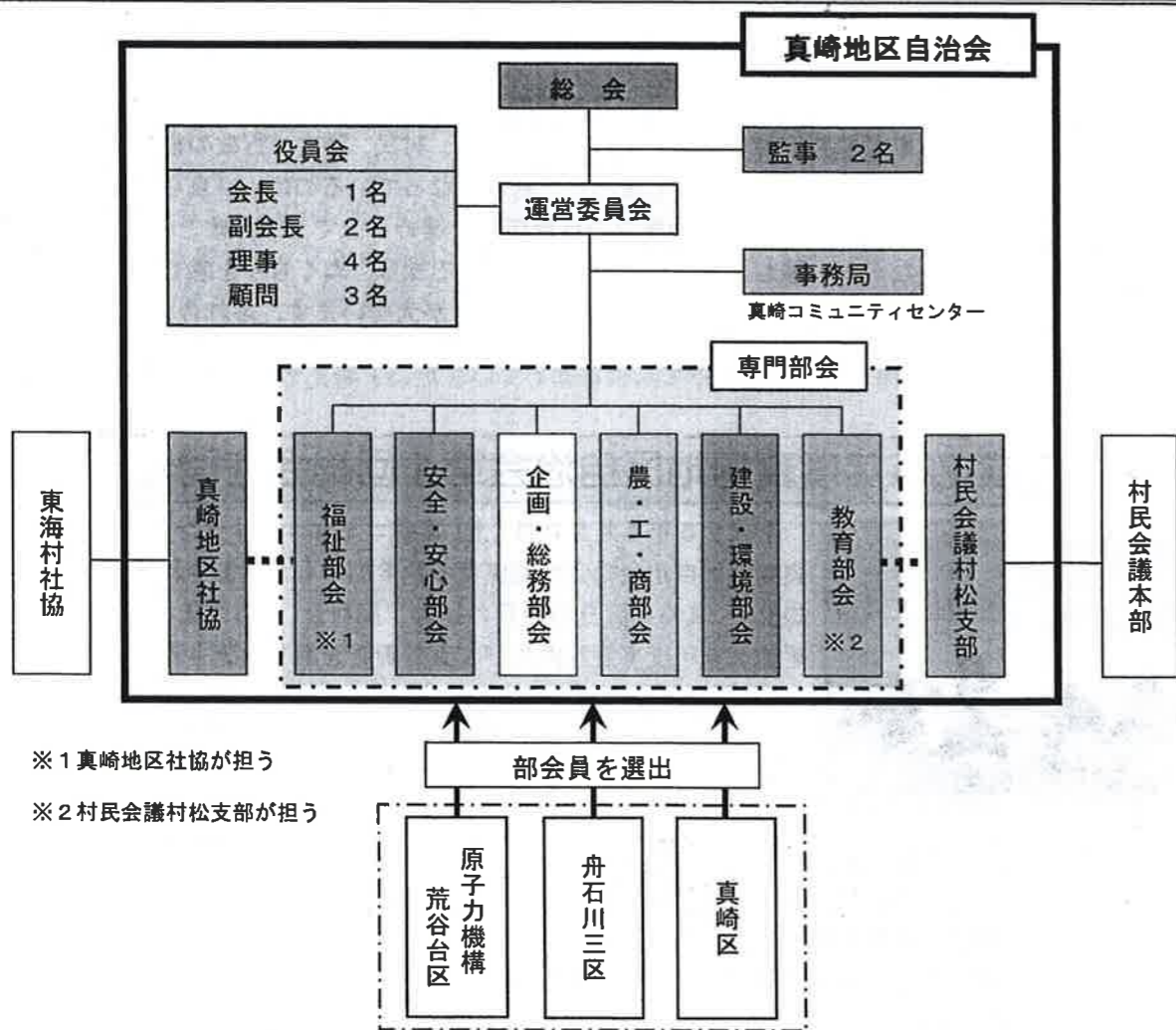


副自治会長  
浅井 雅人

今年度より真崎地区自治会の副自治会長を拝命しました原子力機構荒谷台区自治会会長の浅井です。2年間、大内自治会長、森澤副自治会長とともに真崎地区自治会の運営に携わってまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

真崎地区自治会は、村松小学校区の3つの自治会が協力して地域の問題に取り組み、住み良い地域づくりを目指す組織です。また、災害時には真崎コミセンに開設される基幹避難所を運営します。子供たち、お年寄りをはじめとして、地域の皆さんが安心して暮らせる地域となるよう活動していきますので、皆様のご協力をどうかよろしくお願いいたします。

## 平成25年度 真崎地区自治会組織図



※1 真崎地区社協が担う

※2 村民会議村松支部が担う

## 平成25年度 真崎地区自治会役員紹介 (敬称略)

<b>役員会</b>	<b>副自治会長</b>	<b>理事</b>	<b>顧問</b>
<b>自治会長</b>			
	森澤 潤一郎	宮内 加一	中瀬 恒雄
大内 隆彦			
	浅井 雅人	井川 迪子	高田 昌二
			佐藤 房明
			鈴木 由夫

<b>監事</b>	大内 英昭	<b>事務局</b>	床嶋 純孝(センター長)
<b>監事</b>	松山 徳泰	<b>事務局</b>	樫村 好則(副センター長)

### 運営委員会

自治会長、副自治会長、理事、顧問、専門部会の各部長及び副部長

### 専門部会員 (五十音順)

福祉部会				教育部会			
部会長	野上 紀子	委員	隈 強一	部会長	小泉 光生	委員	加納 里美
副部会長	柏原 文夫	"	高野 久行	副部会長	小園江 利之	"	川崎 道孝
委員	井川 迪子	"	佐藤 幸子	委員	飯田 由美子	"	五来 忠義
"	井坂 幸子	"	佐藤 昌男	"	井坂 幸子	"	佐藤 房明
"	石井 佐紀子	"	鈴木 八重子	"	井坂 文明	"	関村 徹雄
"	大内 克	"	関田 弘子	"	石川 和則	"	高阿田 雅志
"	大内 戴子	"	関村 敏子	"	遠藤 慎也	"	名取 武
"	大内 孝成	"	堀木 欧一郎	"	大内 正光	"	野上 紀子
"	小田 陽子	"	町田 栄治	"	大山 知子	"	塙 貴子
"	亀尾 裕	"	松本 雅弘	"	小野 正雄	"	原田 正英
"	川崎 静子	"	矢内 勝子				

安全・安心部会				建設・環境部会			
部会長	大内 正光	委員	五来 忠義	部会長	久保田 昌宏	委員	五来 忠義
副部会長	須藤 雅広	"	佐藤 房明	副部会長	黒澤 清蔵	"	鈴木 敏宏
委員	植野 重男	"	須藤 信治	委員	井川 迪子	"	須藤 芳孝子
"	海老原 安智	"	須藤 直道	"	石井 佐紀子	"	友部 孝子
"	小野瀬 一	"	寺嶋 弘文	"	大内 克	"	菅川 純一
"	黒羽根 秀行	"	中野 トキ	"	川崎 克則	"	宮内 睦子
"	小嵐 淳	"	野沢 隆	"	工藤 一江		

企画・総務部会				農・工・商部会			
部会長	今泉 謙二	委員	木村 喜久雄	部会長	佐藤 映史	委員	猿田 彦太郎
副部会長	齋藤 好弘	"	黒澤 清蔵	副部会長	宮内 亨	"	清水 均
"	松江 秀明	"	笹木 弘之	委員	海老原 安智	"	須藤 直道
委員	井坂 明子	"	佐藤 映史	"	小園江 利之	"	田村 守
"	石井 淳一	"	野上 紀子	"	川崎 博美	"	仲田 茂
"	入澤 啓太	"	芳賀 芳範	"	北中 清文	"	深谷 隆
"	大内 正光	"	塙 幸光	"	小坏 輝久雄	"	宮内 加一
"	小野 正雄	"	安尾 清志	"	佐佐 俊和		

村山卓

知 (4201)



# 平成25年度 真崎地区自治会主要事業計画及び収支予算

## 1. 事業計画

予定月	事業名	担当部会
毎月第3水曜日定例 (但し8月・12月を除く)	ふれあい食事会	福祉部会
	朝市	農・工・商部会/企画・総務部会
平成25年 6月他	健康ウォーキング	福祉部会
6月	春季花いっぱい運動	建設・環境部会
6月	広報紙発行	企画・総務部会
6月	クリーン作戦	教育部会
8月	真崎古墳行灯まつり(後援事業)	6部会協働
9月	広報紙発行	企画・総務部会
9月	釣り大会	教育部会
10月	防災訓練	安全・安心部会
10月	世代間交流	福祉部会
11月	ふれあい敬老会	福祉部会
11月	住民座談会	福祉部会
11月	秋季花いっぱい運動	建設・環境部会
12月	しめ縄づくり・餅つき大会	教育部会
平成26年 2月	広報紙発行	企画・総務部会
3月	ワクワク FOOD フェスティバル	6部会協働
随 時	挨拶運動立て看板更新	教育部会

## 2. 収支予算

### 2.1 収入の部

項 目	予算額(円)	摘 要
村補助金	1,030,000	みんなで地域づくり事業
繰越金・雑収入	383,000	寄付金・イベント収入など
合 計	1,413,000	

### 2.2 支出の部

項 目	予算額(円)	摘 要
地域づくりステップアップ事業	230,000	消耗品、会議費、通信費など
地域づくり推進事業	500,000	広報紙、防災訓練、花いっぱい運動等
地域コミュニティまつり開催事業費	300,000	ワクワク FOOD フェスティバル
雑支出・予備費など	383,000	イベント予備・防災用備品購入など
合 計	1,413,000	

【編集後記】真崎地区自治会は、4月から新たな体制となりました。この時期は、組織の体制が新しくなって動き出した所も多いと思います。カタカナの「ト」の字に一の字を引きようによって「上」になったり「下」になったり。上は下が見えず、下は上が分からず。ならば「中」が良い。これは、上にも下にも口がきけると言う意味なのだそうです。どのような組織でも中間の者の働きが肝要ですね。今年も企画・総務部会が中心となって、地域のために出された計画や実績を皆様にお伝え致します。【K.I.】

これまで発行された自治会だよりが下記のアドレスにてご覧いただけます。

一般社団法人東海村自治会連合会 <http://www.jitiren.tokai.ibaraki.jp/index.html>